

石垣市のサンゴ保全への取組み R7年度活動報告



第5次(第4次)石垣市総合計画

石垣市自然環境保全基本方針

- * 多様な自然環境の保全
- * 自然環境への負荷の低減
- * 環境教育の推進
- * 多様な主体との連携

第2次石垣市観光基本計画

- * 環境負荷に関する調査研究及び対応策の検討
- * 優れたサンゴ礁の保全
- * 赤土流出防止を目的とする植物の植栽

石垣市農村環境計画

- * 赤土等の流出を防ぐ施設の設置
- * 生活排水の処理と再利用
- * 家畜ふん尿の処理とリサイクル
- * 良好な環境保全型農業・農村づくりへの地元合意形成

環境

水産

観光

下水

農業

畜産

1.現場視察編 (米原海岸利用ルール周知活動)



米原海岸利用ルール周知活動
(第1回：7月23日、第2回：9月19日)



米原海岸利用ルール

米原海岸は、多くのサンゴや魚等の生き物が生息しており、西表石垣国立公園に指定されています。しかし、訪れる利用者の増加や不適切な利用により、自然環境の保全や地域住民の生活に影響が出ています。米原海岸の自然環境を保全し、持続的な利用を進めるために、以下のルールにご協力をお願いします。

- 野生の生き物を捕らぬでください。**
(サンゴや海神魚、シッコウガイ等の採取は自然保護法、沖縄県自然環境条例で規制されています)
- サンゴを踏まないでください。**
(サンゴの破壊は自然公園法で罰せられます。踏まない、踏むのいし折らぬようにしましょう)
- 目撃の生き物に餌を与えないでください。**
(餌を与える行為は、魚の体や生態のバランスに影響を与えます)
- 釣りや水中銃を使わないでください。**
(沖縄県自然環境条例で水中銃は禁止されています)
- 環境に優しい日傘の使用をお願いします。**
(沖縄県自然環境条例で、紫外線を吸収し、自然を汚染しない日傘の使用を推奨しています)
- 潮満時にはメガネやサングラスやスマートフォンを遺失しないようにしてください。**
(不慮の事故に巻き込まれると危険な生き物の捕獲を予防しましょう)
- 荒天時(暴風時・大雨時・台風接近時・豪雨時)の遊泳は非常に危険です!**
小さいお子様の事故が増えていますので、お子様には必ず付き添い、目を離さないようにしましょう。
※ 海岸警備隊や救急隊は絶対に海に入らないでください。

米原海岸利用ルール推進協議会
石垣市 石垣市自然環境課 電話：0980-82-1385(係員)

現在、キャンプ場は閉鎖されています
それに伴い、BBQなど火を焚く行為は、キャンプ場敷地内でも禁止されています。
石垣市 施設管理課
電話：0980-82-9986
までお問い合わせください。

- 海岸でのたき火や花火はやめましょう。**
- 大音量の音楽などの騒音を立てないでください。**
- 海岸でタバコは吸わないでください。**
- 利用者が多いときにはドローンを利用しないでください。**
- 砂浜からサンゴのかけらや砂を持ち帰らないでください。**
(自然公園法や海防法などで罰せられています)
- 車は路上駐車せず駐車をしないでください。**
- ゴミは持ち帰ります。持ち帰るゴミは必ず持ち帰る責任を持ってください。**
- 車庫又は遊歩道・歩道で歩かないでください。**
(歩道は歩行者専用で、車庫は駐車専用です)

この利用ルールがあるため、海岸近くに設置されている看板(※)を遵守してください。
※ 看板では、ライフジャケットやライフリングなどのレンタルが可能です。
AED(※)を完備している施設には、救急隊の対応を要するスタッフがいる場合があります。

1.現場視察編 (新規採用職員研修)



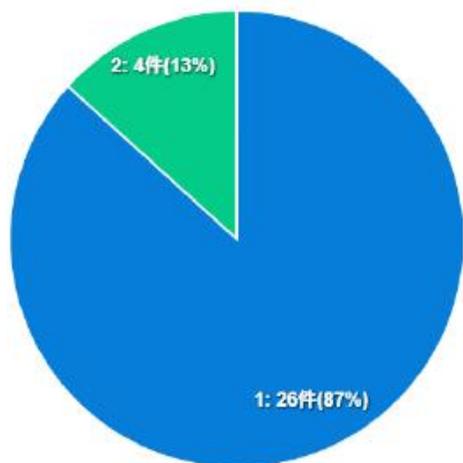
サンゴ保全研修 座学 8月4日(月)



石西礁湖フィールドワーク 8月5日(火)

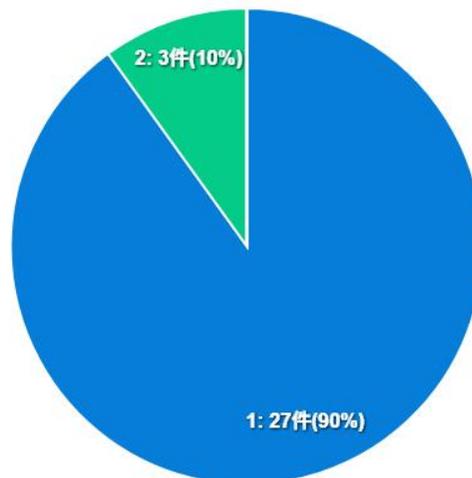
1.現場視察編 (新規採用職員研修)

①研修の理解度



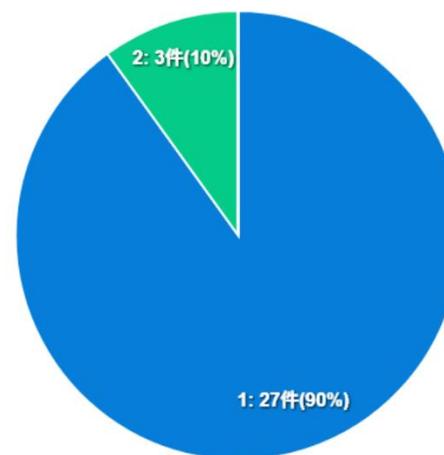
- 1. 理解できた
- 2. まあ理解できた
- 3. どちらとも言えない
- 4. あまり理解できなかった
- 5. 理解できなかった

②講師の説明



- 1. 分かりやすかった
- 2. まあ分かりやすかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. あまり分かりやすくなかった
- 5. 分かりやすくなかった

③研修の印象



- 1. よかった
- 2. まあよかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. あまりよくなかった
- 5. よくなかった

1.現場視察編 (新規採用職員研修)

【サンゴ研修の感想】 もっと知りたかったこと

- ・石垣市の漁業さんがやっている移植や保全活動について
- ・石西礁湖だけでなく、世界の珊瑚礁の紹介
- ・珊瑚の名前をもう少し知りたかった。
- ・サンゴが成長する上で弊害になるものが多くあると知ったが、具体的に我々にできることとしてどのような事があるのか知りたかった。また、サンゴを守る上でどんな政策があるのか気になった。
- ・サンゴが私生活や環境にどのような影響をもたらしているか。
- ・サンゴの保全や私たちができることについてもっと学びたいです。

その他

- ・今回の研修では、サンゴの保全について座学とシュノーケリングを通して学びました。座学では、サンゴが私たちの暮らしと深く関わっていること、そして環境変化の影響を強く受けていることを知り、自然と共に生きる意識の大切さを感じました。実際に海に入ってサンゴを見たことで、その美しさや繊細さを肌で感じることができ、「守るべき自然」がより身近に感じられました。自然と共に生きる島の一員として、石垣市職員としてできることを一つずつ実践していけたらと思います。
- ・今回の研修を通じて、サンゴの生態や課題について知ることができて、とても良かったです。また、石西礁湖でのフィールドワークでは、実際のサンゴ礁や海洋生物などを見たり、貴重な経験が出来てとても良かったです。この2日間で学んできたことを、今後の業務などで生かし、サンゴ保全に努めていきたいと思いました。



2. 庁内連携編 (シン・サンゴレンジャーの取組み)

【シン・サンゴレンジャー】
これまで、単一部署で抱えてきた課題や取り組みを、庁内横断したメンバーで課題を共有し、解決策を検討という目的のもと作られた連携チーム。環境課をはじめとして、企画政策課、観光文化課、農政経済課、畜産課、水産課、下水道課、学校教育課で構成。



関係会議等への参加

石垣島沿岸海域における係留ブイ設置に関する検討会議

意見交換等

カープレミアやいまくにづくりフェス2025
(ZEN大学教授、学生等との意見交換)

政策提言

休耕田の活用事業

3.政策提言

(R6年度から実施しているサンゴ礁保全に繋がる庁内横断的施策)



陸と海の繋がり方
「水田」を利活用していく

(仮称)休耕田活用による循環型環境保全検証プロジェクト

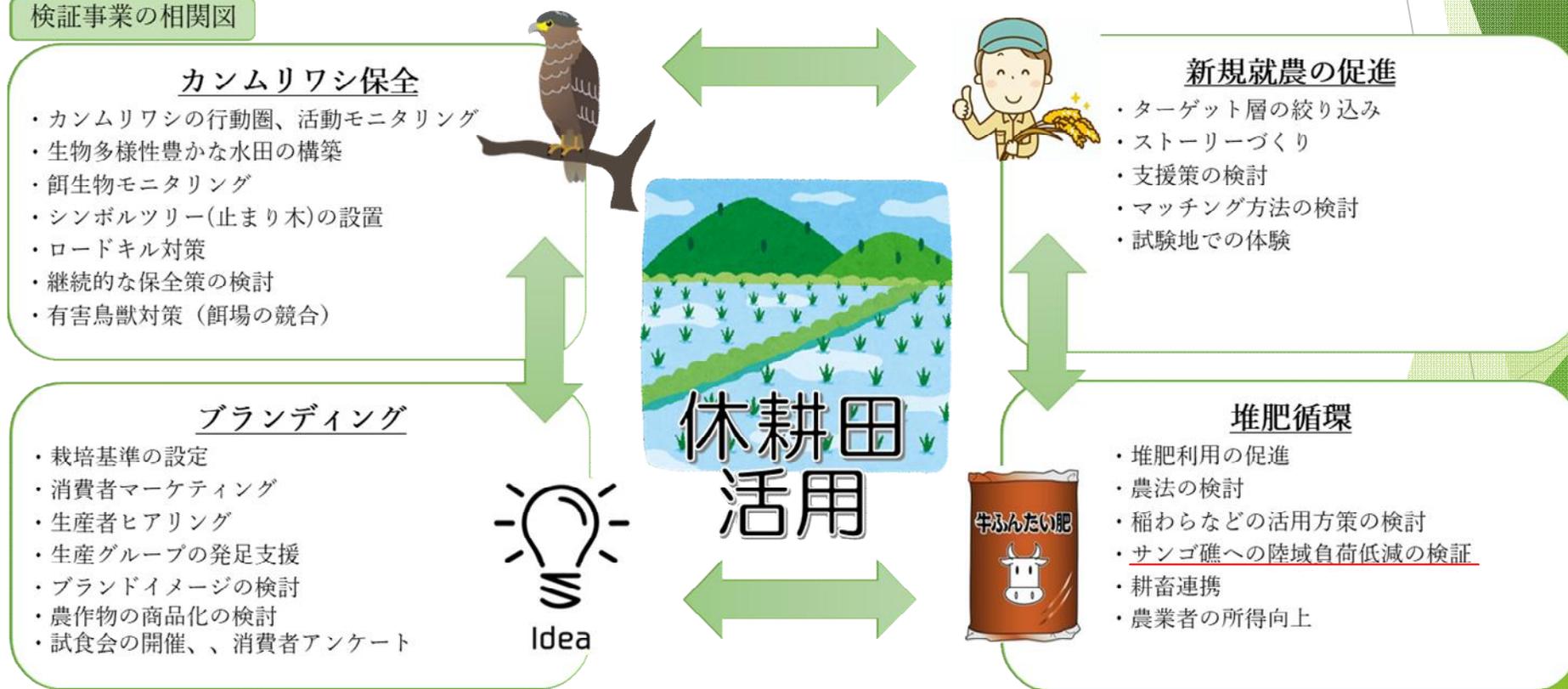
事業期間
令和6年度～令和8年度

事業概要

カンムリワシ (*Spilornis cheela perplexus*) は、八重山諸島の固有亜種であり、繁殖個体群は石垣島及び西表島に限られている。また、保全カテゴリーは絶滅危惧IA類 (CR) (環境省) に分類され、天然記念物に指定されているなど希少な鳥類である。本事業の試験地である名蔵地区では、カンムリワシが道路を餌場としていることが確認されており、ロードキルの問題が発生している。

ロードキルを防ぐため、休耕田の復元によりビオトープ化や水田利用により生物多様性の土台を形成し、餌場の誘導が行えるか検証を行う。加えて、水田では、無農薬・低農薬栽培の基準作りや堆肥循環などの多角的な取組みを試験する。収穫された農作物は、カンムリワシ保護と連動したブランディングや商品開発を行うとともに、新規就農者とのマッチングを検討していく。

検証事業の相関図



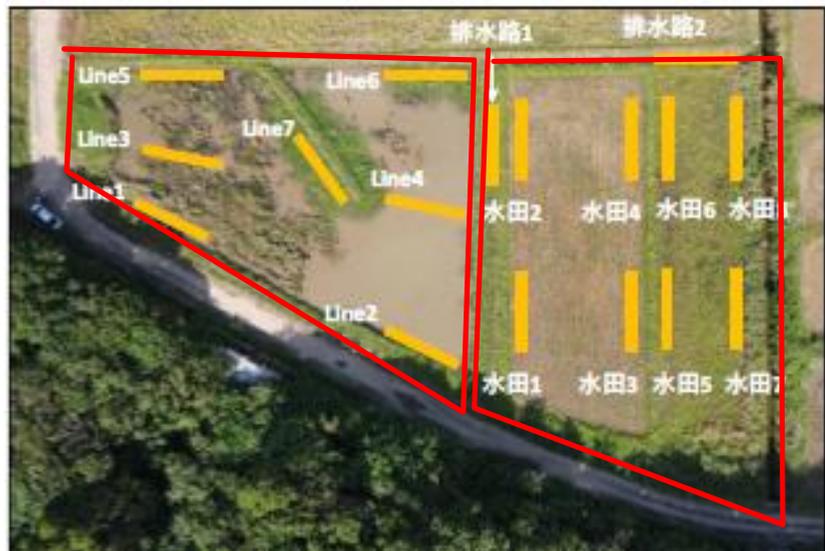
【循環型環境保全プロジェクトの進捗状況】



R6年11月のビオトープ



R8年2月の水田



R7年8月のビオトープ

左がビオトープ、右が復元した水田

【循環型環境保全プロジェクトの進捗状況】



R7年度実施

- ・ビオトープを利用したミズゴケ栽培

* ミズゴケ・・・準絶滅危惧種。大気中のCO2固定・メタン抑制・リンの吸着による水質浄化の作用があると言われる。農業資材として、化学肥料の代わりに使用することで、田畑から海域に流れる海洋汚染防止に対する効果があるかを検証ができないか。



R8年度の予定

- ・試験地にて無農薬米の栽培（3月植付予定）
- ・除草剤を使わずにGPSを利用した田んぼの除草作業の実証実験



海域に流れる栄養塩を減少させ、循環型農業を模索する。